



西高だより

# Sound of Heart 鼓動

山形県立酒田西高等学校  
全日制 通算第122号

令和5年10月31日

## 写真には収まりきれない「 」と

今年度のテーマは「写真には収まりきれない『 』」ですが、『 』には何が入るのだろうか？ テーマ曲となるYOASOBIの「アドベンチャー」を聴いてみると  
♪ 持ちに持った今日は特別な日 日常から少しあみ出して……溢れるような笑顔ばかり♪  
ワクワク感に溢れ、私には『 』はすっきり！ 素敵な思い出作りに出かけましょう。  
<西高祭開催にあたって 校長 高橋秀典>より抜粋



今年の文化祭は、ようやく一般公開が再開されるということもあり、どの発表もどの企画も、より一層力を入れて準備をしました。

ステージ発表は新たにスポットライトが使用できるようになり、どれもすごく盛り上がりました。クラス企画では、予想以上の多くの来客の方々で、普段の西高とは違う華やかな雰囲気を感じました。

ご来校くださった皆さん、協力してくださった皆さん、ありがとうございました。そして、西高生の皆さんお疲れさまでした。

西高祭実行委員長 3年1組 後藤日菜乃

3年3組 クラス企画 1年4組

# 西高から全国へ

## 弓道部



3年3組 熊谷 幸瑠

私は8月に札幌市で行われたインターハイに出場し、**7位入賞**という結果でした。自分の力をすべて出し切れたので後悔はありませんが、すべて出し切った結果が7位だったことに悔しさを感じています。私がここまでこれたのは沢山の方々からの応援と、常にそばで支えてくれた介添えの佐藤世柳のおかげです。この弓道人生で様々なことを学び、たくさんの人と出会い、貴重な経験をさせていただくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

## ボート部

僕は今回のインターハイで、男子シングルスカルに出場しました。各都道府県大会を勝ち抜いた選手たちの中で、予選敗退という結果で終わってしまいましたが、自分の中で、全力で漕ぎぬくという目標は達成できました。これまで訪れる事もなかった北海道で、全国から集まつた選手たちと、3年間積み上げてきたものをぶつけ合えたことは最高の経験だったと思います。こうした経験ができたのも支えてくださった方々と、一緒に頑張ってくれたボート部のメンバーのおかげです。本当にありがとうございます。



女子シングルスカル出場 3年 白畠知奈乃



インターハイ出場者 全国高総文祭参加者

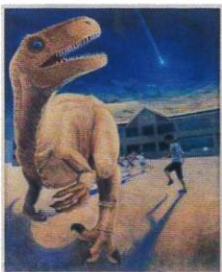
総合文化部 文芸 2年1組 阿部 未羽

今回、全国高総文祭鹿児島大会に散文分野で参加させていただきました。初日は文学散歩で桜島に行きました。二日目は奄美大島出身の小説家の方のお話を聞きし、そのあとの部門別交流会で合評会を行いました。私が提出した、蛙の鳴き声がこだまする田舎を舞台に、そこで起こる不気味な内容の小説が合評会で好評をいただき嬉しかったです。三日目の記念講演会では、講談社の編集者の方のお話を聞きしました。この大会で、山形とは全く違う鹿児島の歴史や編集者の仕事など、たくさん学ぶことができました。ここでの体験を、これから自分の創作に活かせるようにしたいです。



舵手付きクドウル出場 3年 池田 大吾  
2年 池田 哲  
五十嵐夢輝  
佐藤 海斗  
佐藤 順  
大塚 彪哉  
1年 菅原 大知

## 美術部



「Optimistic Kid」須藤 佳乃

3年2組 須藤 佳乃 3年1組 村上 ひより

私達は全国高総文祭美術工芸部門に油絵とアクリル画を出し、参加してきました。須藤は好きな物を描く、村上は平和をテーマに制作しました。これまで以上に必死に制作し、力のこもった作品を完成させることができました。今回、全国から選ばれた作品の数々を見て、自分にはない表現の仕方や技法、個性の出し方を学ぶことができた良い機会となりました。これらの学んだことを今後の活動に活かしていきたいです。



「寧 静」村上 ひより

## 山形県立博物館 プライム企画展

### 高等女学校と実科高等女学校 ~青春の学びと生活~

表記の展示会が県立博物館(山形市)で開催されています。本校からは西高伝統のお雛様をはじめ、酒田高等女学校時代の明治から昭和にかけての貴重な品々が出品され、当時の教育の質の高さが伺えます。 ~12月10日(日)まで開催

